

志五中授業スタンダードS

令和8年4月
研究推進委員会

～学びの主人公は生徒一人ひとり～

授業スタンダードSとは

板橋区が推進する『授業スタンダードS』(Self・Select)とは、生徒が自ら(Self)学びに向かい、自分に合った学習方法を選択(Select)しながら「自立した学習者」へと成長していくための授業スタイルです。

本校では、教員による丁寧な一斉指導も大切な「学びの選択肢」の一つと捉え、毎日の学習の土台にしています。その上で、生徒自身が学習の進め方やペースを選べる場面を積極的に設け、自分の取組を振り返りながら学びを調整する力を育てることをねらいとしています。

先生から「教わる」だけでなく、自分で「進んで学ぶ」。一斉指導と生徒の選択場面のどちらを取り入れるかは、教科や学習内容に合わせて教師が最適にデザインし、生徒一人ひとりの力が最も伸びるように工夫して実践してまいります。

01

目標・流れの設定

一単位時間や単元の目標を明確にし、**めざすべき全員共通のゴールを設定**します。

自己調整学習を行う時間(期間)を確認し、学習の見通しを立てます。

三角形と四角形	教科書P.125～P.138	全7回	サイト		
単元の到達目標	二等辺三角形や直角三角形の性質を証明することを通して、新たな性質を見身に付けることができる。				
【目標】	① 二等辺三角形の性質を理解し、性質が成り立つことを証明することができる。 ② 二等辺三角形の性質を利用して、新たな性質を見だし、証明することができる。 ③ 仮定と結論を入れかえたことから成り立つかどうかを判断することができる。 ④ 直角三角形の性質を理解し、性質が成り立つことを証明することができる。 ⑤ 直角三角形の合同条件を利用して、新たな性質を見だし、証明することができる。 ⑥ 二等辺三角形や直角三角形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。 ⑦ ここまで学習した内容を振り返り、証明のポイントをまとめることができる。				
課題について	・ワークシート No.1～No.2【二等辺三角形の性質】 ・ワークシート No.3～No.4【二等辺三角形になるための条件】 ・ワークシート No.5～No.6【直角三角形の合同】 ・スライド作成【『証明』のポイント】 ・演習プリント ・問題集P86～P99				
【課題】	今日の取組方法	ワークシート No.1	ワークシート No.2	ワークシート No.3	ワークシート No.4
	一人で友達と相談し...	取組中	取組中	取組中	取組中
	友達と相談し...	終了	終了	取組中	取組中
	友達と相談し...	終了	終了	取組中	取組中
	友達と相談し...	終了	終了	取組中	取組中

02

学習方法の選択

目標達成に向けた**学習方法や学習の形態を自分で選択**します。

Googleサイト等を活用して選択できる選択肢を把握し、その中から自分に合った方法を選択することが大切です。



03

振り返り

キーワードを用いて、その時間に学習した内容をまとめます。

また、**学習方法についても振り返りを行い、自身の学習方法を主体的に見直し調整する力を身に付け**ます。

授業内容	到達度	振り返り(学習内容)	振り返り(学習方法)	
平行四辺形になるための条件が成り立つように、定数や性質を利用して証明することができる。	5	平行四辺形になるための条件を学び、利用することができた。平行四辺形が成り立つことを証明するために「平行四辺形になるための条件」を導くときは、辺同士を足したり引いたりして証明することができた。また、図に対角線を書き込んだりして導くこともできた。	今日は沢山の問題を解くことができた。その上、友達に教えることもできたし、新しい学びも合ったから良かった。でも、やっぱり考えるのが遅かったから、次回からは演習問題を解いて正確に考えるスピードを上げたい。	
長方形、ひし形、正方形と平行四辺形の関係を理解し、説明することができる。プリントまで取り組み、しっかりと理解をする。	4	長方形やひし形、正方形の定義から、平行四辺形になるための条件を見だし、対角線の性質について考えることができた。長方形、ひし形は平行四辺形の特別な場合、正方形は長方形の性質をもつていると学ぶことができた。今までの知識を使って、長方形の対角線の性質を証明することができるようにした。	今日は、模範解答も見ながら、良いペースで進めることができた。もっと自分でひらめきながらやっていたら、模範解答をみる回数をもっと減らしていきたい。	
プリントNo.4の問を全て自力で解く。解けなかった問題は解答を見て復習し、No.4を終らせる。	5	プリントNo.4は終わり、演習プリント28左側まで解き終えた。(次回につく)	プリントNo.4では、平行四辺形にどのような条件を付け加えれば、長方形、正方形、ひし形になるのか、それぞれの定義をもとに考えることができた。	スムーズに問題を解き進めることができたので、適切であると思う。

実践のポイント

●生徒の心構え

① 学びの主役は自分

「言われたことをこなす時間」ではなく、「**自分を伸ばすための時間**」として授業に参加する。

② 学び方は自分で選ぶ(選んだ理由をもつ)

「誰と」、「どの順番で」、「何を使って」学習を進めるのか、**自分に合った選択をする**。その上で、「なぜそれを選択したのか」を言えるようにする。

③ 振り返って、次の学びに生かす

「何が効果的だったか、何で困ったか」を整理して、**次に向けて、何を变えるべきかを考える**。

●保護者の皆様へ

① 「自分で選ぶ学び」を大切にしています

授業では、学び方を生徒自身が選ぶ場面がありますが、迷うことを含めて、自立に向かう過程として捉えています。

② 「学び方の工夫」も見ています

学習の結果だけを見るのではなく、「どう学んだか」、「なぜその方法にしたか」、「次にどう生かすか」といった姿を大切にしています。

③ 振り返りにつながる声掛け

「何を目標にした?」「うまくできた?」「次に何を生かす?」等の問いかけが、学びを次につなげる助けになります。

期待される効果

- 『今の自分に必要な学び』を考えて行動できるようになる。
- 様々な選択の機会があることで学習意欲が高まる。
- 次に生かす力(自己調整力)が育つ。
- 不要に待たされる生徒が現れない。個に応じた指導がしやすくなる。

将来につながる力

変化が激しく、情報があふれる社会において、何が大切かを見極める力、変化や失敗に直面したときにやり直す力、多様な他者と関わりながらよりよい解決方法を見いだす力、指示を待たずに学び続ける力などが求められます。志五中授業スタンダードSは、これらの力を育てることにつながります。